

平成29年度第4回安来市創生総合戦略推進会議

平成30年3月22日（木）午前10時～  
安来市役所安来庁舎2階 201会議室

次 第

○開会の挨拶

会議成立報告

○議 事

（1）総合戦略事業（平成28年度）について

（2）事業に対する意見等のまとめ

（3）平成30年度の会議の進め方

○その他

○閉会の挨拶

平成27年度 安来市まち・ひと・しごと創生総合戦略 実施計画及び実績報告書

基本目標1	若い世代の結婚・出産・子育てを”支援(てご)”する
-------	---------------------------

	策定時	変更後
指標	出生数	
基準値	267人(H25)	
目標値	272人(H27～H31年平均)	

※基準値は、出生届の数(4月～3月)

◆評価方法

- ◎:非常に効果的であった(実績が目標を上回った場合など)
  - :相当程度効果があった(実績は目標を上回ることはなかったが、目標の7～8割達成又は最終的に達成できる見込みがある場合など)
  - △:効果があった(実績は目標を上回らなかったが基準よりも改善された場合など)
  - ×:効果がなかった又は少なかった(実績が基準よりも下回った場合など)
- ※累計、H31は目標値を事業年数5で割り判断した。

No.	施策No.	事業名	事業概要	新規・継続・拡充	重要業績評価指標	決算額	事業の実績	内部評価	外部評価	次年度への対応	担当部課名
1	(1)結婚しやすい環境づくり	結婚活動支援事業	結婚相談の実施、出会いの場の創出、婚活サポーター養成セミナーの実施等	継続	「はぴこ交流サロン」を通じた成婚数 基準値:0組(H26) 目標値:50組(累計)	1,572,679	成婚数2組	△	△	継続	定住企画課
2	(2)-①妊娠・出産・育児の支援	子育て応援サイト事業	子育てに関する行政サービス情報等を広く情報発信を行うため、「子育てタウンママフレ」を活用する。	新規	(先行型交付金分) メールマガジン登録者数 0～5歳児家庭の400件 (年間出生数260*5年*30%)	2,332,800	WEBサイトアクセス数 18,071件 登録者数38件	△	△	継続	子ども未来課
3	(2)-①妊娠・出産・育児の支援	一般不妊治療助成事業	不妊治療を受けた夫婦に対し、保険適用の一般不妊治療及び検査、人工授精の自己負担額の一部を助成する。	継続	助成件数 基準値:54人(H26) 目標値:60人(平均)  (先行型交付金分) 利用者数(のべ)60件	1,628,300	利用者数(のべ)59件	○	○	継続	子ども未来課

No.	施策No.	事業名	事業概要	新規・継続・拡充	重要業績評価指標	決算額	事業の実績	内部評価	外部評価	次年度への対応	担当部課名
4	(2)-①妊娠・出産・育児の支援	がん対策事業	集団及び個別によるがん検診の実施	継続	子宮頸がん検診受診者数 基準値:818人(H26) 目標値:940人(平均)	28,608,845	子宮頸がん検診受診者数 1,060人 H27より妊婦健診における子宮頸がん検診受診者数(253人)も含む	◎	◎	継続	いきいき健康課
5	(2)-①妊娠・出産・育児の支援	子育て講座事業	初めて子育てをする保護者の育児不安・ストレスの解消を図るため臨床心理士等による講座の開催	継続	はじめての子育て講座の受講者数 基準値:41人(H26) 目標値:40人(平均)	403,029	はじめての子育て講座の受講者数38人	○	○	継続	子ども未来課
6	(2)-①妊娠・出産・育児の支援	認定こども園運営事業	保護者の就労状況に係らず、柔軟に子どもを受け入れられる認定こども園への移行を推進する。	継続	認定こども園への移行数 基準値:0箇所(H26) 目標値:14箇所(H31)	91,173,472	認定こども園への移行数 1箇所	○	○	継続	子ども未来課
7	(2)-②地域が一体となった子育て支援	子育て支援センター事業	育児相談、イベント・子育てセミナー等を実施する。	継続	子育て支援センター利用者数(0~2歳児) ※つどいの広場利用者含む 基準値:607人/月(H26) 目標値:607人/月(毎年)	3,645,458	子育て支援センター利用者数(0~2歳児) ※つどいの広場利用者含む 497人/月(H27)	○	○	継続	子ども未来課

No.	施策No.	事業名	事業概要	新規・継続・拡充	重要業績評価指標	決算額	事業の実績	内部評価	外部評価	次年度への対応	担当部課名
8	(2)-②地域が一体となった子育て支援	ファミリーサポートセンター事業	育児に関する会員同士による相互援助活動への支援	継続	ファミリーサポートセンター利用者数(小学1～6年生) 基準値:12人/週(H26) 目標値:25人/週(H31)	6,200,000	ファミリーサポートセンター利用者数(小学1～6年生):12人/週(H27)	○	○	継続	子ども未来課
9	(2)-②地域が一体となった子育て支援	放課後児童健全育成事業	保護者が労働等により日中留守している家庭の小学生児童を預かり、児童の健全育成事業を実施	継続	放課後児童クラブ利用者数 基準値:275人/年(H26) 目標値:416人/年(H31)	57,852,665	335人/年	○	○	継続	教育総務課
10	(2)-②地域が一体となった子育て支援	放課後児童クラブ施設新築事業	母里、南児童クラブを新築移転する。	継続	放課後児童クラブ数 基準値:11箇所(H26) 目標値:14箇所(H31)	47,672,280	13箇所(新設2箇所)	○	○		教育総務課
11	(2)-②地域が一体となった子育て支援	みんなで子育て応援事業	独自の婚姻届、子育て支援マップの作成、出生に伴う記念品の贈呈など	新規	利用者数300人	1,636,200	利用者数230人	○	○	継続	定住企画課 子ども未来課

No.	施策No.	事業名	事業概要	新規・継続・拡充	重要業績評価指標	決算額	事業の実績	内部評価	外部評価	次年度への対応	担当部課名
12	(3)学校教育の充実・グローバル人材の育成	外国語指導事業	市内の各小中学校及び幼稚園に外国語指導助手(ALT)を派遣し、児童・生徒の国際理解を促進する	継続	未就学児の英語に親しむ活動の実施率(定期的に外国語指導助手を巡回させる幼稚園、認定こども園の割合) 基準値:-%(H26) 目標値:100%(H31)	16,638,687	未就学児の英語に親しむ活動の実施率31.3%	○	○	継続	学校教育課
13	(3)学校教育の充実・グローバル人材の育成	しまねの子育て協働プロジェクト事業	児童・生徒がふるさと安来の豊かな自然、歴史、文化に触れる各事業を実施	継続	全国学力調査の児童・生徒質問紙の回答の割合(質問:今住んでいる地域の行事に参加していますか) 基準値:小学生85.1%/中学生54.6%(H26) 目標値:小学生90.0%/中学生60.0%(H31)	6,845,600	全国学力調査の児童・生徒質問紙の回答の割合(質問:今住んでいる地域の行事に参加していますか) :小学生82.1%/中学生53.2%	×	×	継続	学校教育課
14	(3)学校教育の充実・グローバル人材の育成	安来市ジュニアマイスタープラン	市内の各小中学校及び幼稚園に地域の講師を派遣し、地元の伝統文化に触れる学習の実施	継続		1,600,000					

平成27年度 安来市まち・ひと・しごと創生総合戦略 実施計画及び実績報告書

基本目標2	産業振興により、若者に魅力ある雇用の場を創出する
-------	--------------------------

	策定時	変更後
指標	20代の社会移動	
基準値	-58人(H25)	
目標値	±0人(H27~31年平均)	

※基準値は総務省統計局「住民基本台帳人口移動報告」

◆評価方法

- ◎:非常に効果的であった(実績が目標を上回った場合など)
  - :相当程度効果があった(実績は目標を上回ることはなかったが、目標の7~8割達成又は最終的に達成できる見込みがある場合など)
  - △:効果があった(実績は目標を上回らなかったが基準よりも改善された場合など)
  - ×:効果がなかった又は少なかった(実績が基準よりも下回った場合など)
- ※累計、H31は目標値を事業年数5で割り判断した。

No.	施策No.	事業名	事業概要	新規・継続・拡充	重要業績評価指標	決算額	事業の実績	内部評価	外部評価	次年度への対応	担当部課名
1	(1)-①ものづくり産業の振興	ものづくり企業技術開発等支援事業	特殊鋼関連産業との取引拡大につながる開発経費、成長分野に進出するための経費の一部を補助	継続		16,350,000				継続	商工観光課
2	(1)-①ものづくり産業の振興	企業立地促進奨励金事業	企業等の新設、増設又は移転について、企業の投下固定資本に係る固定資産税を奨励金として交付	継続		7,166,020				継続	商工観光課
3	(1)-①ものづくり産業の振興	産業サポートネットやすぎ事業	産業サポートネットやすぎ(※)による販路拡大、ブランド化推進を行う企業、個人への経費の一部を支援 ※市、JA、商工会議所、商工会で構成される産業支援団体	継続	企業誘致及び立地促進による新規雇用者数 基準値:41人(H22~H26) 目標値:100人(累計) 新技術等の開発や取引拡大の支援件数 基準値:4件(H26) 目標値:30件(累計)	19,287,000	企業誘致及び立地促進による新規雇用者数:35人 ・新技術等の開発や取引拡大の支援件数:10件	◎	◎	継続	商工観光課

No.	施策No.	事業名	事業概要	新規・継続・拡充	重要業績評価指標	決算額	事業の実績	内部評価	外部評価	次年度への対応	担当部課名
4	(1)-①ものづくり産業の振興	企業立地雇用促進奨励金事業	企業等の新設、増設又は移転について、増加固定資本総額、空き工場等の賃借料の一部、新規雇用者の人数に応じた金額を奨励金として交付する	継続		31,100,000				継続	商工観光課
5	(1)-①ものづくり産業の振興	工業団地整備事業	新規に工業団地を整備し、企業を誘致	新規		4,620,240				継続	商工観光課
6	(1)-①ものづくり産業の振興	ふるさと寄付推進事業	お礼の品を充実することで、特産品の販路の拡大と安来のPRを推進する	継続	ふるさと寄附の返礼品目数 基準値：41品目(H26) 目標値：70品目(H31)  (先行型交付金分) 新規販路開拓5件	67,491,496	ふるさと寄附の返礼品目数 品目83品目(同一商品で数量が異なる品目を引いた場合72品目)  (先行型交付金分) 新規販路開拓10件	◎	◎	継続	定住企画課
7	(1)-②農林業の振興	新農林水産振興がんばる地域応援総合事業	「やすぎ地域特産物の産地活性化と地産地消の推進」プロジェクトへの支援、新規就農者の施設整備への支援	継続	集落営農組織数 基準値：49組織(H27) 目標値：59組織(H31)  新規就農者数 基準値：11人(H20～H26)	5,341,000	集落営農組織数 実績値：53組織  新規就農者数 実績値：2人  認定農業者数			継続	農林振興課





No.	施策No.	事業名	事業概要	新規・継続・拡充	重要業績評価指標	決算額	事業の実績	内部評価	外部評価	次年度への対応	担当部課名
12	(1)-③創業支援	創業支援事業	創業・事業継承セミナーの開催、ビジネスコンテストの実施、チャレンジスペースの貸し出し、アドバイザーの雇用	新規	支援事業を通じた新規創業件数 基準値：-件(H26) 目標値：25件(累計)  (先行型交付金分) 創業支援者数55件	9,288,000	・創業支援者数5件	○	○	継続	商工観光課
13	(2)地域資源を活かした観光振興	誘客推進事業	月山富田城誘客推進、観光ボランティアガイド、公共サインの整備、観光施設のバリアフリー化及び多言語表示の実施	新規	観光入込客数 基準値：140.5万人(H26) 目標値：145万人(平均)  (誘客推進事業分) 月山周辺観光施設(緋センター・歴史資料館)入込数20,000人	3,221,040	観光入込客数 H27 1,287,206人  (誘客推進事業分) 月山周辺観光施設(緋センター・歴史資料館)入込数30,382人			継続	商工観光課
14	(2)地域資源を活かした観光振興	新・ご当地グルメ開発事業	安来市の新しいスタイルのメニューの開発	新規	(新・ご当地グルメ開発事業) メニュー提供店舗数：5店舗	3,240,000	新・ご当地グルメ開発継続中 参画店舗数：6店舗			継続	商工観光課
15	(2)地域資源を活かした観光振興	安来節振興事業	安来節演芸館を核とした観光客へのPR、各種イベント及び普及宣伝事業の実施	継続		34,285,130		○	○	継続	商工観光課

No.	施策No.	事業名	事業概要	新規・継続・拡充	重要業績評価指標	決算額	事業の実績	内部評価	外部評価	次年度への対応	担当部課名
16	(2)地域資源を活かした観光振興	インバウンド推進事業	米子ーソウル便、DBSクルーズフェリー や大型クルーズ船寄港等外国人誘致の実施	継続		1,171,280		○	○	継続	商工観光課
17	(2)地域資源を活かした観光振興	やすぎ刃物まつり事業	ハガネの街安来のPR及び中心市街地活性化を図る	継続		8,733,498				継続	商工観光課
18	(2)地域資源を活かした観光振興	月の輪まつり振興会補助事業	花火大会、市指定無形文化財事業、仁輪加・安来節公演、自治会ステージへの支援	継続		6,000,000				継続	商工観光課
19	(3)若者・女性等の就職支援の充実	就労支援事業	企業と新卒学生との情報提供の場の設置、求職・求人サイトへの登録企業の拡充を図る	継続	求職・求人ポータルサイト「中海圏域就職ナビ」「中海圏域ワークネット」など登録事業所数 基準値：32社(H26) 目標値：100社(H31)	1,394,183	登録事業者数33社	△	△	継続	定住企画課

平成27年度 安来市まち・ひと・しごと創生総合戦略 実施計画及び実績報告書

基本目標3	住環境を向上し、市民の定住意識を高める
-------	---------------------

	策定時	変更後
指標	30代の社会移動	
基準値	-71人(H25)	
目標値	+26人(H27~31年平均)	

※基準値は総務省統計局「住民基本台帳人口移動報告」

◆評価方法

- ◎:非常に効果的であった(実績が目標を上回った場合など)
  - :相当程度効果があった(実績は目標を上回ることにはなかったが、目標の7~8割達成又は最終的に達成できる見込みがある場合など)
  - △:効果があった(実績は目標を上回らなかったが基準よりも改善された場合など)
  - ×:効果がなかった又は少なかった(実績が基準よりも下回った場合など)
- ※累計、H31は目標値を事業年数5で割り判断した。

No.	施策No.	事業名	事業概要	新規・継続・拡充	重要業績評価指標	決算額	事業の実績	内部評価	外部評価	次年度への対応	担当部課名
1	(1)住宅の確保	空き家改修補助事業	空き屋バンク登録物件の改修に係る経費の一部を助成	継続		841,000				統合	定住企画課
2	(1)住宅の確保	定住促進支援補助事業	新婚者、Uターン者を対象に中古住宅取得への支援、家賃助成を実施 市内で住宅を取得する者に対し、その経費の一部を助成(新規)	拡充	住宅支援の補助件数 基準値:3件(H26) 目標値:550件(累計)  (3世代世帯定住推進支援事業分 先行型交付金分) 助成金活用市内定住者数45人	4,694,000	住宅支援の補助件数72件  (3世代世帯定住推進支援事業分 先行型交付金分) 助成金活用市内定住者数111人	○	○	統合	定住企画課
3	(1)住宅の確保	3世代世帯定住推進補助事業	三世代世帯、新婚世帯を対象に住宅取得、増改築に係る経費の一部を助成	新規		24,000,000				統合	定住企画課

No.	施策No.	事業名	事業概要	新規・継続・拡充	重要業績評価指標	決算額	事業の実績	内部評価	外部評価	次年度への対応	担当部課名
4	(1)住宅の確保	空き家情報登録制度(空き家バンク)	市内空き家の有効活用のため、所有者と入居希望者のマッチングを行う	継続	空き家バンク登録住宅の活用件数 基準値:12件(H26) 目標値:50件(累計)		0 空き家バンク登録住宅の活用件数15件(H26から継続分含む)	△	△	継続	定住企画課
5	(2)移住者受け入れ体制の充実	定住サポートセンター事業	定住に必要な仕事・住まい・生活情報を一元的に収集・提供すると共に、定住相談、定住後のアフターフォローの実施など定住対策のワンストップ化	新規	相談窓口を通じた移住者数 基準値:28人(H26) 目標値:126人(毎年)  (先行型交付金分) 定住相談数100人 お試し住宅利用件数10件	7,280,792	相談窓口を通じた移住者数 68人  (先行型交付金分) 定住相談数172人 お試し住宅利用件数0件	△  ○	△  ○	継続	定住企画課
6	(3)まちなか等の利便性の向上	商業再生支援事業	空き店舗での出店に際し家賃及び改装費の一部を助成。中山間地域での店舗整備及び移動販売車購入に係る経費の一部を助成	継続	事業を利用した空き店舗への出店数 基準値:2件(H22~H26) 目標値:10件(累計)	3,602,000	支援件数 4件 うち空き店舗への出店支援2件	◎	◎	継続	商工観光課
7	(4)-①防災体制の整備	自主防災組織支援事業	自主防災組織活動支援のための補助やリーダー育成のための講習会の開催	継続	自主防災組織数 基準値:35組織(H26) 目標値:45組織(H31)	784,000	35組織(H27新規設立組織 0)	△	△	継続	危機管理課

No.	施策No.	事業名	事業概要	新規・継続・拡充	重要業績評価指標	決算額	事業の実績	内部評価	外部評価	次年度への対応	担当部課名
8	(4)-①防災体制の整備	消防団体制の構築事業	消防団員の教育訓練等の実施。消防団施設整備及び体制の構築	継続	消防団員数 基準値：720人(H26) 目標値：720人(H31)	80,900,189	消防団員数709人 (H28.4.1)	○	○	継続	消防総務課
9	(4)-②医療・福祉の充実	福祉専門学校就学補助事業	市内事業所の介護従事者が介護福祉士の資格を取得する際に事業主へ補助を実施	新規	福祉専門学校就学補助制度を利用した人数 基準値：-人(H26) 目標値：75人(累計)  (先行型交付金分) 資格取得者数15名	1,080,000	福祉専門学校就学補助制度利用人数 3人  (先行型交付金分) 資格取得予定者数3名	△	△	継続	介護保険課
10	(4)-②医療・福祉の充実	医師・看護師確保対策事業	将来市内医療機関等への従事を希望する医学生、看護学生へ奨学金を貸与	継続	医学生、看護学生奨学制度を活用して市内医療機関等に勤務する人数 基準値：4人(H26) 目標値：12人(累計)	2,304,300	奨学金利用者数：6名 市内医療機関等への勤務者数：新規2名	○	○	継続	いきいき健康課
11	(4)-③市民の健康増進の支援	がん対策事業【再掲】	集団及び個別によるがん検診の実施	継続	胃がん検診受診者数 基準値：904人(H26) 目標値：1,480人(H31)  大腸がん検診受診者数 基準値：1,945人(H26) 目標値：2,070人(H31)	28,608,845	胃がん検診受診者数 779人 大腸がん検診受診者数 2,235人	× ◎	× ◎	継続	いきいき健康課

平成27年度 安来市まち・ひと・しごと創生総合戦略 実施計画及び実績報告書

基本目標4	多種多様で魅力的な”地域(じげ)”を形成する
-------	------------------------

	策定時	変更後
指標	安来市への愛着度	
基準値	62.3%(H26)	
目標値	70%(H30)	

※基準値は、H26総合計画のアンケート結果

◆評価方法  
 ◎:非常に効果的であった(実績が目標を上回った場合など)  
 ○:相当程度効果があった(実績は目標を上回ることはなかったが、目標の7~8割達成又は最終的に達成できる見込みがある場合など)  
 △:効果があった(実績は目標を上回らなかったが基準よりも改善された場合など)  
 ×:効果がなかった又は少なかった(実績が基準よりも下回った場合など)  
 ※累計、H31は目標値を事業年数5で割り判断した。

No.	施策No.	事業名	事業概要	新規・継続・拡充	重要業績評価指標	決算額	事業の実績	内部評価	外部評価	次年度への対応	担当部課名
1	(1)-①地域の担い手の確保・育成	地域おこし協力隊事業	市外の人材を積極的に招致し、地域の活性化等を促進するとともに、その定住及び定着を図る	新規	地域おこし協力隊制度による移住者 基準値:-人(H26) 目標値:12人(累計)	7,214,342	地域おこし協力隊制度による移住者 4人(家族含む)	◎	◎	継続	農林振興課
2	(1)-②農林業の担い手の確保・育成	新規就農研修事業【再掲】	就農希望者等への短期農業体験の実施、新規就農者研修への支援	継続	新規就農者数 基準値:11人(H20~H26) 目標値:20人(累計)	4,896,183	新規就農者数 2名	○	○	継続	農林振興課
3	(1)-②農林業の担い手の確保・育成	みどりの担い手確保緊急対策事業【再掲】	作業員就労条件整備事業、新規参入促進対策事業のメニューに合わせて補助金を交付	継続	新規林業従事者数 基準値:3人(H26) 目標値:15人(累計)	3,000,000	新規林業従事者数3人	○	○	継続	農林振興課

No.	施策No.	事業名	事業概要	新規・継続・拡充	重要業績評価指標	決算額	事業の実績	内部評価	外部評価	次年度への対応	担当部課名
4	(2)地域の拠点づくり	地区交流センター活性化事業	各地区交流センター単位での地域活性化推進、地域ビジョンの作成、地域リーダーの研修派遣実施	新規	<p>地域ビジョンの作成地域数 基準値:5箇所(H27) 目標値:24箇所(累計)</p> <p>集落支援員の配置 基準値:-人(H27) 目標値:16人(H31)</p> <p>交流センターでの「地域づくり」に関する講座開催数 基準値:各館平均1回(H27) 目標値:各館3回(毎年)</p> <p>(先行型交付金分) 地域づくり実践研修会参加者200名</p>	1,768,866	<p>地域ビジョン作成地域数:5箇所</p> <p>交流センターでの「地域づくり」に関する講座開催数 今夏確定予定</p> <p>地域づくり実践研修会参加者:243名</p>	○	○	継続	地域振興課
5	(2)地域の拠点づくり	生活交通ネットワーク再編事業	生活交通網の再編、地域コミュニティと連携した生活交通網の構築	新規	<p>1便あたりの平均乗車数10人</p> <p>連携事業3件</p>	10,952,242	<p>1便あたりの平均乗車数6.4人</p> <p>連携事業実績 1件</p>	○ ○	○ ○	継続	市民参画課
6	(2)地域の拠点づくり	イエローバス運行事業	公共交通機関である生活バス路線の運行	継続	<p>イエローバス利用者数 基準値:36万人(H26) 目標値:36万人(平均)</p>	223,768,903	<p>イエローバス利用者数 332,633人</p>	○	○	継続	市民参画課

No.	施策No.	事業名	事業概要	新規・継続・拡充	重要業績評価指標	決算額	事業の実績	内部評価	外部評価	次年度への対応	担当部課名
7	(3)-②道路ネットワークの整備	道路改良事業	道路改良事業	継続	道路改良延長 基準値：-km 目標値：13.0km(累計)	226,917,978	改良工事延長 L=890m	○	○	継続	土木建設課



平成28年度 安来市まち・ひと・しごと創生総合戦略 実施計画及び実績報告書

基本目標1 若い世代の結婚・出産・子育てを”支援(てご)”する

	策定時	変更後
指標	出生数	
基準値	267人(H25)	
目標値	272人(H27~H31年平均)	

※基準値は、出生届の数(4月~3月)

◆○×式評価の評価方法  
 ◎:非常に効果的であった(実績が目標を上回った場合など)  
 ○:相当程度効果があった(実績は目標を上回ることはなかったが、目標の7~8割達成又は最終的に達成できる見込みがある場合など)  
 △:効果があった(実績は目標を上回らなかったが基準よりも改善された場合など)  
 ×:効果がなかった又は少なかった(実績が基準よりも下回った場合など)  
 ※累計、H31は目標値を事業年数5で割り判断した。

No.	施策No.	事業名	事業概要	新規・継続・拡充	重要業績評価指標	決算額	事業の実績	内部評価	外部評価	次年度への対応	担当部課名
1	(1)	結婚活動支援事業	結婚相談の実施、出会いの場の創出、婚活サポーター養成セミナーの実施等	継続	「はぴこ交流サロン」を通じた成婚数 基準値:0組(H26) 目標値:50組(累計)	778,379	成婚数1組	△	×	継続	定住企画課
2	(2)-①	子育て応援サイト事業	子育てに関する行政サービス情報等を広く情報発信を行うため、「子育てタウンママフレ」を活用する。	継続	(先行型交付金分) メールマガジン登録者数 0~5歳児家庭の400件(年間出生数260*5年*30%)	2,332,800	WEBサイトアクセス数 18,047件 登録者数76件	△		継続	子ども未来課
3	(2)-①	不妊治療助成事業	不妊治療を受けている夫婦に対し、保険適用の一般不妊治療及び検査、人工授精等の自己負担額の一部助成について事業の拡充を図る。 特定不妊治療費については、島根県の上乗せ助成を行う。	拡充	一般不妊治療費助成件数 基準値:54人(H26) 目標値:60人(平均)	4,311,700	一般不妊治療費助成件数:41件 特定不妊治療費助成件数:29件	○	○	継続	子ども未来課

No.	施策No.	事業名	事業概要	新規・継続・拡充	重要業績評価指標	決算額	事業の実績	内部評価	外部評価	次年度への対応	担当部課名
4	(2)-①	がん対策事業	集団及び個別によるがん検診の実施	継続	子宮頸がん検診受診者数 基準値:818人(H26) 目標値:940人(平均)	29,960,374	子宮頸がん検診受診者数 970人(平均)	○	○	継続	いきいき健康課
5	(2)-①	子育て講座事業	初めて子育てをする保護者の育児不安・ストレスの解消を図るため臨床心理士等による講座の開催	継続	はじめての子育て講座の受講者数 基準値:41人(H26) 目標値:40人(平均)	387,753	受講者数 はじめての子育て講座:42組 ほっとひととき講座:17組	◎	○	継続	子ども未来課
6	(2)-②	認定こども園運営事業	保護者の就労状況に係らず、柔軟に子どもを受け入れられる認定こども園への移行を推進する。休日保育事業を統合したもの	継続	認定こども園への移行数 基準値:0箇所(H26) 目標値:14箇所(H31)	204,862,673	認定こども園 10施設 (平成28年度移行数 9施設)	◎	◎	継続	子ども未来課
7	(2)-②	子育て支援センター事業	育児相談、イベント・子育てセミナー等を実施する。	継続	子育て支援センター利用者数(基幹型・地域型) ※つどいの広場利用者含む 基準値:607人/月(H26) 目標値:607人/月(毎年)	3,186,173	プレイルーム利用者数: 3,067人(256人/月)	○	△	継続	子ども未来課
8	(2)-②	ファミリーサポートセンター事業	育児に関する会員同士による相互援助活動への支援	継続	ファミリーサポートセンター利用者数(小学1～6年生) 基準値:12人/週(H26) 目標値:25人/週(H31)	6,200,000	利用者数:1,445人(28人/週)	◎	○	継続	子ども未来課

No.	施策No.	事業名	事業概要	新規・継続・拡充	重要業績評価指標	決算額	事業の実績	内部評価	外部評価	次年度への対応	担当部課名
9	(2)-②	放課後児童健全育成事業	保護者が労働等により日中留守している家庭の小学生児童を預かり、児童の健全育成事業を実施	継続	放課後児童クラブ利用数 基準値: 275人/年 (H26) 目標値: 416人/年 (H31)	64,448,996	338人/年	○	○	継続	教育総務課
10	(2)-②	みんなで子育て応援事業	独自の婚姻届、子育て支援マップの作成、出生に伴う記念品の贈呈など※子育ておでかけマップの構築はH27年度。H28年度以降は運営	継続	利用者数300人	120,960	子育て支援マップ(ウェブサイト)の拡充を図った	△	×	継続	子ども未来課
11	(3)	外国語指導事業	市内の各小中学校及び幼稚園に外国語指導助手(ALT)を派遣し、児童・生徒の国際理解を促進する	継続	未就学児の英語に親しむ活動の実施率(定期的に外国語指導助手を巡回させる幼稚園、認定こども園の割合) 基準値: -%(H26) 目標値: 100%(H31)	17,457,752	実施: 幼稚園3 保育所2 認定子ども園10 基準値: 31.3%(H27) 目標値: 100%(H31) 実績値: 100%(H28)	◎	◎	継続	学校教育課
12	(3)	しまねの子育て協働プロジェクト事業	児童・生徒がふるさと安来の豊かな自然、歴史、文化に触れる各事業を実施	継続	全国学力調査の児童・生徒質問紙の回答の割合(質問: 今住んでいる地域の行事に参加していますか) 基準値: 小学生85.1%/中学生54.6%(H26) 目標値: 小学生90.0%/中学生60.0%(H31)	6,860,400	小学校85.2% 中学生54.6% ○ふるさと教育を各学年で年間35時間以上実施。 ○転入教職員ふるさと教育研修1回実施。 ○学社連携講座1回実施。 ○講師を招いて伝統文化である安来節踊りや銭太鼓、地域に伝わる盆踊りや太鼓などを体験し、学んだ成果を発表。 小学校13校 中学校2校	△	△	継続	学校教育課

平成28年度 安来市まち・ひと・しごと創生総合戦略 実施計画及び実績報告書

基本目標2	産業振興により、若者に魅力ある雇用の場を創出する
-------	--------------------------

	策定時	変更後
指標	20代の社会移動	
基準値	-58人(H25)	
目標値	±0人(H27~31年平均)	

※基準値は総務省統計局「住民基本台帳人口移動報告」

◆○×式評価の評価方法  
 ◎:非常に効果的であった(実績が目標を上回った場合など)  
 ○:相当程度効果があった(実績は目標を上回ることはなかったが、目標の7~8割達成又は最終的に達成できる見込みがある場合など)  
 △:効果があった(実績は目標を上回らなかったが基準よりも改善された場合など)  
 ×:効果がなかった又は少なかった(実績が基準よりも下回った場合など)  
 ※累計、H31は目標値を事業年数5で割り判断した。

No.	施策No.	事業名	事業概要	新規・継続・拡充	重要業績評価指標	決算額	事業の実績	内部評価	外部評価	次年度への対応	担当部課名
1	(1)-①	ものづくり企業技術開発等支援事業	特殊鋼関連産業との取引拡大につながる開発経費、成長分野に進出するための経費の一部を補助	継続	企業誘致及び立地促進による新規雇用者数 基準値:41人(H22~H26) 目標値:100人(累計) 新技術等の開発や取引拡大の支援件数 基準値:4件(H26) 目標値:30件(累計)	11,561,000	<ul style="list-style-type: none"> <li>ものづくり企業技術開発等支援事業 支援件数 3件</li> <li>企業立地促進奨励金事業 支援件数 2件</li> <li>企業立地雇用促進奨励金事業 支援件数 5件</li> <li>工業団地整備事業 新たな工業団地の測量調査設計、用地測量を行った(繰越明許)</li> <li>中山間地域等雇用基盤強化支援事業 0件</li> <li>貸工場整備事業 事業の制度化</li> </ul>	◎		継続	商工観光課
2	(1)-①	企業立地促進奨励金事業	企業等の新設、増設又は移転について、企業の投下固定資本に係る固定資産税を奨励金として交付	継続		4,336,536	<ul style="list-style-type: none"> <li>企業誘致及び立地促進による新規雇用者数 実績:79人(累計)</li> <li>新技術等の開発や取引拡大の支援件数 実績:19件(累計)</li> </ul>			継続	商工観光課
3	(1)-①	産業サポートネットやすぎ事業	産業サポートネットやすぎ(※)による販路拡大、ブランド化推進を行う企業、個人への経費の一部を支援 ※市、JA、商工会議所、商工会で構成される産業支援団体	継続		21,716,000				継続	商工観光課

No.	施策No.	事業名	事業概要	新規・継続・拡充	重要業績評価指標	決算額	事業の実績	内部評価	外部評価	次年度への対応	担当部課名
4	(1)-①	企業立地雇用促進奨励金事業	企業等の新設、増設又は移転について、増加固定資本総額、空き工場等の賃借料の一部、新規雇用の人数に応じた金額を奨励金として交付する	継続	No.1～3と同じ	64,357,000	No.1～3と同じ	No.1～3と同じ	No.1～3と同じ	継続	商工観光課
5	(1)-①	工業団地整備事業	新規に工業団地を整備し、企業を誘致	継続		20,171,160				継続	商工観光課
6	(1)-①	中山間地域等雇用基盤強化支援事業	中山間地域等において企業の新たな設備投資を支援 ※県事業	新規		0				継続	商工観光課
7	(1)-①	貸工場整備事業	企業の要望に応じて設計・建築する安来市オーダーメイド貸工場等条例及び施行規則を制定	新規		96,390				継続	商工観光課
8	(1)-①	ふるさと寄付推進事業	お礼の品を充実することで、特産品の販路の拡大と安来のPRを推進する	継続	ふるさと寄附の返礼品目数 基準値：41品目(H26) 目標値：70品目(H31)	177,195,181	ふるさと寄附の返礼品目数 品目121品目(同一商品で数量が異なる品目を引いた場合100品目)  寄附金額 363,841,569円	◎	継続	定住企画課	

No.	施策No.	事業名	事業概要	新規・継続・拡充	重要業績評価指標	決算額	事業の実績	内部評価	外部評価	次年度への対応	担当部課名
9	(1)-②	新農林水産振興が んばる地域応援総合 事業	「やすぎ地域特産物の産地 活性化と地産地消の推進」 プロジェクトへの支援、新 規就農者の施設整備への 支援	継続		3,845,000		○		継続	農林振興 課
10	(1)-②	農山漁村活性化プロ ジェクト支援交付金	農業協同組合が行うリース 方式の園芸施設整備に要 する経費への補助金交付	継続	集落営農組織数 基準値：49組織(H27) 目標値：59組織(H31)	13,380,000	集落営農組織数 実績値：57組織(H28年度 末)	○		継続	農林振興 課
11	(1)-②	新規就農研修事業	就農希望者等への短期農 業体験の実施、新規就農 者研修への支援	継続	新規就農者数 基準値：11人(H20～ H26) 目標値：20人(累計)	10,856,778	新規就農者数 実績値：2人		○	継続	農林振興 課
12	(1)-②	就農・定住パッケージ 事業	UIターンによる新規就農及 び地域定住の促進を図る ため、就農研修生及び認 定新規就農者を対象に定 住促進賃貸住宅を整備	新規	認定農業者数 基準値：102組織(H27) 目標値：121組織(H31)	45,770,400	認定農業者数 実績値：93組織(H28年度 末)	○		継続	農林振興 課
13	(1)-②	林業活性化事業	高性能林業機械の導入及 び木材の搬出経費の一部 に補助金を交付	継続	No.14～18と同じ	7,386,360	No.14～18と同じ	No.14～ 18と同 じ	No.14～ 18と同 じ	継続	農林振興 課

No.	施策No.	事業名	事業概要	新規・継続・拡充	重要業績評価指標	決算額	事業の実績	内部評価	外部評価	次年度への対応	担当部課名
14	(1)-②	中間土場整備事業	山から切り出した原木の適切な仕分・積み替えにより、効率的な出荷体制構築とCD材のバイオマス利用の促進を図る為、中間土場を整備	新規	(加速化交付金分) 新規林業従事者数 基準値:3人(H26) 目標値:15人(累計)  市産材の活用量(バイオマス・公共施設等への市産材活用)1,000立米  地域おこし協力隊(林業)1人	7,996,320	・新規林業従事者数1人 ・施業集約化促進事業 森林GIS導入支援 補助率:全額	○	△	継続	農林振興課
15	(1)-②	特用林産物振興事業	しいたけ原木・種駒購入に係る経費の1/3以内を支援(100円未満切り捨て)	新規		501,337	・新植支援事業 1.7haの新植 補助率:1haあたり900千円以内 ・市産材増産事業 4,380㎡の搬出 補助率:1㎡あたり1千円以内 ・林業就労条件整備等に対する支援を行なった。 ・造成・舗装工事 舗装面積 1,300㎡			継続	農林振興課
16	(1)-②	みどりの担い手確保緊急対策事業	作業員就労条件整備事業、新規参入促進対策事業のメニューに合わせて補助金を交付	継続		3,000,000				継続	農林振興課
17	(1)-②	太陽光発電・ペレットストーブ等への補助(ペレットストーブ分)	太陽光発電システム及びペレットストーブ等の設置費の一部を補助し、再生可能エネルギーの利用促進による温室効果ガスの排出抑制を図る。	継続		1,032,000	太陽光発電システム 住宅用 13件 事業所用 0件 ペレットストーブ等 7件 太陽熱利用設備 1件			継続	環境政策課
18	(1)-②	総合文化ホールのバイオマスボイラーの原材料購入	総合文化ホールの空調熱源のチップ焚きバイオマスボイラーの燃料のもととなる間伐材を購入し森林資源の有効活用を図る	新規		3,649,752	・間伐材購入量 337.94t			継続 ※29年度以降はチップ販売業者が購入	文化ホール準備室

No.	施策No.	事業名	事業概要	新規・継続・拡充	重要業績評価指標	決算額	事業の実績	内部評価	外部評価	次年度への対応	担当部課名
19	(1)-③	創業支援事業	創業・事業継承セミナーの開催、ビジネスコンテストの実施、チャレンジスペースの貸し出し、アドバイザーの雇用	新規	支援事業を通じた新規創業件数 基準値:-件(H26) 目標値:25件(累計)  (先行型交付金分) 創業支援者数55件	6,600,000	・創業・事業承継セミナーの開催 3回 ・ビジネスコンテストフォローアップ ・チャレンジスペースの運営 新規創業件数 9件 (累計 14件)	○	○	継続	商工観光課
20	(2)	誘客推進事業	月山富田城誘客推進、観光ボランティアガイド、公共サインの整備、観光施設のバリアフリー化及び多言語表示の実施	継続		1,613,000				継続	商工観光課
21	(2)	新・ご当地グルメ開発事業	安来市の新しいスタイルのメニューの開発	継続	観光入込客数 基準値:128.7万人(H27) 目標値:145万人(平均)  (誘客推進事業分) 月山周辺観光施設(耕センター・歴史資料館)入込数20,000人	1,620,000	観光入込客数 H28 1,560,370人  (誘客推進事業分) 月山周辺観光施設(耕センター・歴史資料館)入込数34,100人	◎	◎	継続	商工観光課
22	(2)	安来節振興事業	安来節演芸館を核とした観光客へのPR、各種イベント及び普及宣伝事業の実施	継続	(新・ご当地グルメ開発事業) メニュー提供店舗数:5店舗	34,327,990	新・ご当地グルメ「安来ドジョウ寿司」 H29.3.24スタート 提供店舗数:5店舗			継続	商工観光課
23	(2)	インバウンド推進事業	米子ーソウル便、DBSクルーズフェリー や大型クルーズ船寄港等外国人誘致の実施	継続		565,000				継続	商工観光課



No.	施策No.	事業名	事業概要	新規・継続・拡充	重要業績評価指標	決算額	事業の実績	内部評価	外部評価	次年度への対応	担当部課名
24	(2)	やすぎ刃物まつり事業	ハガネの街安来のPR及び中心市街地活性化を図る	継続	No.20～23と同じ	5,300,000	No.20～23と同じ	No.20～23と同じ	No.20～23と同じ	継続	商工観光課
25	(2)	月の輪まつり振興会補助事業	花火大会、市指定無形文化財事業、仁輪加・安来節公演、自治会ステージへの支援	継続		7,000,000					継続
26	(3)	就労支援事業	企業と新卒学生との情報提供の場の設置、求職・求人サイトへの登録企業の拡充を図る	継続	求職・求人ポータルサイト「中海圏域就職ナビ」「中海圏域ワークネット」など登録事業所数 基準値：32社(H26) 目標値：100社(H31)	1,394,183	登録事業者数39社	○	○	継続	定住企画課

平成28年度 安来市まち・ひと・しごと創生総合戦略 実施計画及び実績報告書

基本目標3	住環境を向上し、市民の定住意識を高める
-------	---------------------

	策定時	変更後
指標	30代の社会移動	
基準値	-71人(H25)	
目標値	+26人(H27~31年平均)	

※基準値は総務省統計局「住民基本台帳人口移動報告」

◆○×式評価の評価方法  
 ◎:非常に効果的であった(実績が目標を上回った場合など)  
 ○:相当程度効果があった(実績は目標を上回ることはなかったが、目標の7~8割達成又は最終的に達成できる見込みがある場合など)  
 △:効果があった(実績は目標を上回らなかったが基準よりも改善された場合など)  
 ×:効果がなかった又は少なかった(実績が基準よりも下回った場合など)  
 ※累計、H31は目標値を事業年数5で割り判断した。

No.	施策No.	事業名	事業概要	新規・継続・拡充	重要業績評価指標	決算額	事業の実績	内部評価	外部評価	次年度への対応	担当部課名
1	(1)	定住推進支援事業	空き家改修補助事業、定住促進支援補助事業、3世代世帯定住推進補助事業を統合拡充したもの	拡充	住宅支援の補助件数 基準値:3件(H26) 目標値:550件(累計)  (3世代世帯定住推進支援事業分 先行型交付金分) 助成金活用市内定住者数45人	112,917,333	補助件数 182件	◎	◎	継続	定住企画課
2	(1)	定住推進支援事業(地域産材分)	定住推進支援事業の中で、地域産材を使用した場合に補助することにより、林業振興を図る	拡充		5,850,000	<ul style="list-style-type: none"> <li>住宅取得 82件</li> <li>増改築 24件</li> <li>家賃助成 66件</li> <li>中古住宅取得事業 3件</li> <li>地域産材利用 7件</li> </ul> 定住推進支援事業助成金活用市内定住者数188人			継続	定住企画課
3	(1)	民間賃貸住宅建設助成事業	定住の促進及びまちなか居住の推進を目的として、新築賃貸住宅の建設に係る費用の一部を助成※県事業	新規		46,012,000	◎	◎	継続	建築住宅課	

No.	施策No.	事業名	事業概要	新規・継続・拡充	重要業績評価指標	決算額	事業の実績	内部評価	外部評価	次年度への対応	担当部課名
4	(1)	空き家情報登録制度(空き家バンク)	市内空き家の有効活用のため、所有者と入居希望者のマッチングを行う	継続	空き家バンク登録住宅の活用件数 基準値:12件(H26) 目標値:50件(累計)	0	空き家バンク登録住宅の活用件数15件(H26から継続分含む)	△	△	継続	定住企画課
5	(2)	定住サポートセンター事業	定住に必要な仕事・住まい・生活情報を一元的に収集・提供すると共に、定住相談、定住後のアフターフォローの実施など定住対策のワンストップ化	新規	相談窓口を通じた移住者数 基準値:28人(H26) 目標値:126人(毎年)	7,166,004	相談窓口を通じた移住者数 100人	○	○	継続	定住企画課
6	(3)	商業再生支援事業	空き店舗での出店に際し家賃及び改装費の一部を助成。中山間地域での店舗整備及び移動販売車購入に係る経費の一部を助成	継続	事業を利用した空き店舗への出店数 基準値:2件(H22～H26) 目標値:10件(累計)	6,980,000	支援件数 8件 うち空き店舗への出店支援4件	◎	○	継続	商工観光課
7	(4)-①	自主防災組織支援事業	自主防災組織活動支援のための補助やリーダー育成のための講習会の開催	継続	自主防災組織数 基準値:35組織(H26) 目標値:45組織(H31)	523,000	新規設立組織 4 実績値:38組織(累計) 自主防災組織育成補助金 交付 10組織	△	△	継続	危機管理課
8	(4)-①	消防団体制の構築事業	消防団員の教育訓練等の実施。消防団施設整備及び体制の構築	継続	消防団員数 基準値:720人(H26) 目標値:720人(H31)	77,890,516	各種訓練及び消防学校への研修派遣を行った。消防団員の各種訓練実施。女性団員は応急手当普及員の資格を取得し、消防職員とともに応急手当の普及活動を行った。  消防団員数:712人	△	△	継続	消防総務課

No.	施策No.	事業名	事業概要	新規・継続・拡充	重要業績評価指標	決算額	事業の実績	内部評価	外部評価	次年度への対応	担当部課名
9	(4)-②	福祉専門学校就学補助事業	市内事業所の介護従事者が介護福祉士の資格を取得する際に事業主へ補助を実施(補助率3/10 上限月額3万円)	継続	福祉専門学校就学補助制度を利用した人数 基準値:-人(H26) 目標値:75人(累計)  (先行交付金分) 資格取得予定者数3名	1,440,000	補助対象事業所:3事業所、利用人数:4人	△	△	継続	介護保険課
10	(4)-②	医師・看護師確保対策事業	将来市内医療機関等への従事を希望する医学生、看護学生へ奨学金を貸与	継続	医学生、看護学生奨学制度を活用して市内医療機関等に勤務する人数 基準値:4人(H26) 目標値:12人(累計)	1,120,000	奨学金利用者数:3名 市内医療機関等への勤務者数:8名(累計)	△	△	継続	いきいき健康課
11	(4)-③	がん対策事業【再掲】	集団及び個別によるがん検診の実施	再掲	胃がん検診受診者数 基準値:904人(H26) 目標値:1,480人(H31)  大腸がん検診受診者数 基準値:1,945人(H26) 目標値:2,070人(H31)	29,960,374	胃がん検診受診者数 701人 大腸がん検診受診者数 1,813人	×	○	継続	いきいき健康課

平成28年度 安来市まち・ひと・しごと創生総合戦略 実施計画及び実績報告書

基本目標4	多種多様で魅力的な”地域(じげ)”を形成する
-------	------------------------

	策定時	変更後
指標	安来市への愛着度	
基準値	62.3%(H26)	
目標値	70%(H30)	

※基準値は、H26総合計画のアンケート結果

◆○×式評価の評価方法  
 ◎:非常に効果的であった(実績が目標を上回った場合など)  
 ○:相当程度効果があった(実績は目標を上回ることはなかったが、目標の7~8割達成又は最終的に達成できる見込みがある場合など)  
 △:効果があった(実績は目標を上回らなかったが基準よりも改善された場合など)  
 ×:効果がなかった又は少なかった(実績が基準よりも下回った場合など)  
 ※累計、H31は目標値を事業年数5で割り判断した。

No.	施策No.	事業名	事業概要	新規・継続・拡充	重要業績評価指標	決算額	事業の実績	内部評価	外部評価	次年度への対応	担当部課名
1	(1)-①	地域おこし協力隊事業	市外の人材を積極的に招致し、地域の活性化等を促進するとともに、その定住及び定着を図る	継続	地域おこし協力隊制度による移住者 基準値:-人(H26) 目標値:12人(累計)	12,889,254	地域おこし協力隊制度による移住者 4人(家族含む)	○	○	継続	農林振興課
2	(1)-②	就農・定住パッケージ事業【再掲】	UIターンによる新規就農及び地域定住の促進を図るため、就農研修生及び認定新規就農者を対象に定住促進賃貸住宅を整備	新規	新規就農者数 基準値:11人(H20~H26) 目標値:20人(累計)	45,770,400	新規就農者数 2名 定住促進賃貸住宅整備 比田住宅 1棟 赤江住宅 1棟	○	○	継続	農林振興課
3	(1)-②	新規就農研修事業【再掲】	就農希望者等への短期農業体験の実施、新規就農者研修への支援	継続		10,856,778				継続	農林振興課

No.	施策No.	事業名	事業概要	新規・継続・拡充	重要業績評価指標	決算額	事業の実績	内部評価	外部評価	次年度への対応	担当部課名
4	(1)-②	みどりの担い手確保緊急対策事業【再掲】	作業員就労条件整備事業、新規参入促進対策事業のメニューに合わせて補助金を交付	継続	新規林業従事者数 基準値:3人(H26) 目標値:15人(累計)	3,000,000	・新規林業従事者数1人 ・林業就労条件整備等に対する支援を行なった。	○	○	継続	農林振興課
5	(2)	地区交流センター活性化事業	各地区交流センター単位での地域活性化推進、地域ビジョンの作成、地域リーダーの研修派遣実施	新規	地域ビジョンの作成地域数 基準値:5箇所(H27) 目標値:24箇所(累計)  集落支援員の配置 基準値:-人(H27) 目標値:16人(H31)  交流センターでの「地域づくり」に関する講座開催数 基準値:各館平均1回(H27) 目標値:各館3回(毎年)  (先行型交付金分) 地域づくり実践研修会参加者200名※H27の	1,195,791	地域ビジョン作成地域数:7箇所(新規2) 地域づくり講座開催数:18回。	△	○	継続	地域振興課
6	(2)	集落支援員事業	地域、地区又は集落の課題を住民自らの課題としてとらえることで、住民、地域・関係団体、行政などが連携した取り組みを行えるよう、人口、世帯数等の社会的条件及び地形等の地理的条件を考慮し集落支援員を配置	新規	集落支援員を配置する。 基準値:-人(H27) 目標値:16人(H31)	3,250,836	2名(宇波地区、伯太地域)	△	○	継続	地域振興課

No.	施策No.	事業名	事業概要	新規・継続・拡充	重要業績評価指標	決算額	事業の実績	内部評価	外部評価	次年度への対応	担当部課名
7	(3)-①	イエローバス運行事業	公共交通機関である生活バス路線の運行	継続	イエローバス利用者数 基準値:36万人(H26) 目標値:36万人(平均)	229,200,392	イエローバス利用者数 323888人	○	○	継続	市民参画課
8	(3)-②	道路改良事業	道路改良事業	継続	道路改良延長 基準値:-km 目標値:13.0km(累計)	280,166,719	改良工事延長 L=2.2Km	○	×	継続	土木建設課

## 安来市創生総合戦略会議での意見等のまとめ

### 安来市まち・ひと・しごと・創生総合戦略外部評価 (会議経過)

- 3/25 平成 27 年度事業 (基本目標 1)
- 5/25 平成 27 年度事業 (基本目標 2)
- 8/1 平成 27 年度事業 (基本目標 3)
- 10/12 平成 27 年度事業 (基本目標 4) 及び 平成 28 年度事業 (分科会)

### ■全体

- 全体を通して課題は書いてあるがその解決策があまり書いてない。唯一書いてあるのがこのマッチングへシフトしていく必要があるということで、マッチングが少なかったという課題に対してシフトしていくことが唯一書いてある。解決策がうまくいくかどうかは別として今年あるは半年やってみたけれども上手くいかないから、この課題について次にどういう風に手を打つのか、それをやってみようということを書かないと PDCA が回っていかない。PDCA を何回転もするのが非常に重要なので、成果はどうあれ課題と書いた事への対応策を決めてやってみるといふ、そういう書き方に是非してほしい。
- 課題について多くがコピペしてあるのはまずいので、課題をあげたら上手く行くかは別にして、対策を決めたという事を明確にしていくというやり方にしたほうが PDCA は回っていく。
- KPI が成果を図るのに適切かということがたくさん議論ででてきた。見直さないといけないということです。「はぴこ交流サロン」を通じてなくてもよいのです、成婚数というのは、子育て環境の充実が認定子ども園の移行数だけでいいのかということもありますので、自分も関わって国のスケジュールに沿ってドタバタと作った経緯もあるが、今後 KPI を見直しながら議論ができればいい。

### ■基本目標 1

#### 施策 No(1)「結婚しやすい環境づくり」

- こういう取り組みは良い取り組みだと思う。人口増に対する一番基本的なものになると思うのでぜひ活発にお願いしたい。
- JA やすぎ時代に結婚相談所として安来市と農業委員会の 3 団体で行っていた。この課題等にあるように相談員が間に入るのを嫌がる世代で相談員が間に入って結びついたりしても成果として報告できないという部分が結構あり廃止となった。人口増に向けて重要な部分と思うので、なかなか (一年で) 2 組しかできなかったという判断だけでなく、



進めていった方がよい。

- できたら安来にもまちのために頑張ってやろうという方々がおられて、そういった方々にサロンとかイベントとかも広報していただけないかなと思う。イベントするとき困るのが広報。イベントをする中で大半が新聞折り込みとかチラシをみたなので、SNSより新聞折り込みとかチラシが効果があるということが現状ある。
- 結婚された方がはたして安来市内に住んでおられるのかということがすごく気になるので、その後の経過も含んだ婚活イベントであってほしいなというところと、そもそもなぜ未婚なのかというのは答えがでない話ではあるが教育的なところも含むのでかなり遡ってやっていかないといけない。そこは横の連携になると思う。
- 事業をやろうとしておられる諸団体に向けての支援という形も考えていかないと市外の業者にだすケースもあるとは思いますが地域のためにとやっておれるところもあるのでそういう面での支援も今後考えて行けたらと思う。

#### **施策 No (2)－①「妊娠・出産・育児の支援」**

- 子育て応援支援サイト事業について、単年度事業で先行型交付金を活用したものをこれから先やっていく総合戦略に単年度事業で終わるものをここにあげているのか？せっかく国の交付金を使って立ち上げて、前回の質問への回答としてサイトの画面を印刷しているのにそれで終わりというのは釈然としない。
- 登録者数が伸びないといけない。(ホームページの) 立ち上げにお金を使ってそれではいけないので、登録者数を増やす努力をしないといけない。
- 今に関連してK P Iについて、メールマガジン登録者数よりかはスマホの導入者の方がよかった。今の若い世代を中心にメールマガジン読んでいる人は少なくアプリだと自動的に情報が示されるので、可能な場合はK P Iを変えて或いは他の物差しを加えて追いかけるのも大事。

#### **施策 No (2)－②「地域が一体となった子育て支援」**

- 放課後児童クラブ施設新築事業について、母里児童クラブは駐車場の舗装がされてなく、風が強いと砂煙が強いとのことでした。指導者の方から何かの機会があれば伝えてほしいとのことでしたので出来るだけ早く舗装してほしい。また、カーブをするところで危険なところがあるので対策を立ててもらおうと安心ですと、こちらも指導員の方からありました。
- 放課後児童クラブには定員があると思いますが、待機児童ではないが入りたいけど入れないという方を知っている。そういった方への対応はとれないか？
- 放課後クラブには指導員がありますが指導員になるためにはかなりハードルが高い。放課後クラブも条件は同じなのでもう少し市が中心となって研修をして早く指導員になれるようなことが考えられないか？

#### **施策 No (3)「学校教育の充実・グローバル人材の育成」**

- AL T（外国語指導助手）の派遣、未就学児の英語に親しむ活動の実施率100%を達成してしまっている。何か目標値を変える考えがあるか？  
月に1回まわるとすればAL Tの人数を何人増やさなければならないのか、そういうことを課題として目標値として設定していかれたほうがよいのではないか。
- 安来子ども達がスポーツをしていくというところで、なかなか（親が）共働きでそこへ連れて行くことができない、自分がそこに行かなければそのクラブへ入ることができないということで我慢している子が多いようにも伺っている。例えば放課後のイエローバスとかが体育館を経由して移動ができれば（当然お金がかかるので難しいとは思いますが）スポーツがしたくてもできない子が米子や松江に行くのが逆に安来に住めばそういったサービスがあるんだと安来らしさの支援があったらいい。親への支援、育成、安来らしさの取り組みの1つに繋がっていくのではないか。
- 外国語指導員、AL Tさんですが、常に英語じゃないとダメでしょうか？外国語であれば中国語、韓国語、ドイツ語、大学へ行くと必ず英語プラス外国語を選択しますので、そうしたときに他の外国語もあればいいなと思うので、難しいかもしれませんが検討していただけないか？
- しまねの子育て協働プロジェクト事業について、評価の出し方が一定の考えでなされているのでいいとは思いますが、他にも良い方法があれば検討してほしい。
- KPIというただ数値だけで全てを評価しているが、放課後児童クラブでもあったように、必ずしも数値だけでは計れないところもある。そういったところも何らか評価していく或いは評価の仕方を変えていく、そういったところも今後の課題の1つではないか。

## ■基本目標2

### 施策No(1)－①「ものづくり産業振興」

- KPI の新規雇用者数は、企業立地奨励金によるものの雇用者数のみが計上されているので目標値のクリアは達成しやすいのでは。
- KPI を目標にしてやるシステムというのはPDCA サイクルが非常に大事なので、どこかでその辺の見直しをしていただかないと結局は数字合わせで、結局本当のこの戦略というものが達成されているのかどうなのか分かりにくい。
- 新規雇用者数のカウントが申請数なので、仮に同業者からの横滑りでは本来の意味が無いので統計資料等または独自の追跡調査により実態調査をしてほしい。
- 産業サポートネットやすぎ事業の申請内容を数値化し、何に重点を置くかを模索しては。

### 施策No(1)－②「農林業の振興」

- みどりの担い手確保緊急対策事業について、安来市は山が多いところなので担い手の方が一人でも増えればお任せしたいという部分もあるのでお願いしたい。
- 循環型として木材ループは市全体としてももう少し考えていかないと進まないのでは。

- 農山漁村活性化プロジェクト支援交付金について、平成27年から平成31年度までの5年間あるがそれ以降も何らかの形で継続してほしい。

#### **施策 No (1)－③「創業支援」**

- ビジネスプランコンテストによる事業雇用者数の把握をしてほしい。

#### **施策 No (2)「地域資源を活かした観光振興」**

- 雇用の面からいくとGDPで追っかけないといけないので、観光業の域内の総生産の統計（観光消費額）を採ってほしい。
- 月山富田城跡誘客推進事業について、多くの観光客が月山にあがっておられる状態なのでボランティアガイドで対応するには限界があると感じるので対応について模索してほしい。
- 安来ドジョウ寿司について、予約がないと食べれないという状況と、あと連休中に食べれないというような状況では広がっていかないので、内容について今後検討されたらいいと感じる。また、食べられた方の感想とかアンケートもあわせてされると数値にも反映していけると感じた。
- 安来市に足立美術館があるっていうのは武器になると思うが、コラボした企画をしていては。
- 個別の中身ではないが、アウトカム分析とか実行部隊の起用とかいうのはなかなか難しいと思うが、何か外部のシンクタンクとかを利用する予定あるか。

#### **施策 No (3) 若者・女性等の就職支援の充実**

- 日立金属さんの見学の関係は、若いときから職業意識を形成するという意味では全国的にも広がりつつある動きなので大変いいことだと思う。
- 安来市とは比べ物にならないほど県外流出で困っている西部地区の市町村は、雇用推進協議会を立ち上げておられ、例えば学生が帰ってくる夏休みの時期、お盆の時期とか、年末に帰省されるような時期をターゲットに絞り込んで、親御さんを通じて子供さんに知らせるような連絡体制をつくっている自治体もあるので参考にさせていただいたら。
- 就労支援制度について、登録企業を増やすには商工会議所を窓口にするれば早いのでは。

### **■基本目標 3**

#### **施策 No (1)「住宅の確保」**

- 定住対策の中の3世代世帯の新築、改築の要件で、中学生以下の子がいる世帯とその親の世帯いうふうな定義があるが、高校生以下でもよかったのでは。
- 地域材の活用に関して、地域産材の活用をした場合の証明は森林組合が証明を出さず米子の市場で証明となり矛盾も感じるのもう一回見直しをする必要があるのでは。今の

現状を見ると、安来市の林業関係は逆方向に向いていくような感覚がする。

- 住宅補助について、補助がなくても家をつくるという人もいるはずで、どう見きわめるかが非常に大事だと思う。地元の業者に発注するのであればそこに補助金出すとか、もう少し条件変えて制度的に誘導するようなことがあってもいいのでは。
- 空き家は駅の近くほど多いという現象も生まれているので、いろんなことを考えながら空き家対策をやらなくてはいけない。民間賃貸は結構不便なところへアパートを建て、結局空き家率を増加させている。これからの空き家対策や住宅政策そのものを考え直すなくてはいけない時代になってきている。

### 施策 No (3) 「まちなか等の利便性の向上」

- 商業再生支援事業について、空き家の店舗の事業を利用した空き店舗の出店数という、単に空き家の出店数だけが指標になっているので限定せず事業継承とかも定住につながるので指標としては。

### 施策 No (4)－①「防災体制の整備」

- 自主防災組織について、全体として組織率が65%だが地域によっての差があるのでそこをどう考えたらいいのかが大事なので、この指標だけを頼りにしてもどうか。
- 自主防災組織で、限られた予算はわかるが道具などの整備が必要なので補助してもらえる金額っていうのが非常に少ないと思う。世帯数によってと指標はあるが10年かけてやっと整えるというのも非常に厳しいものがある。

### 施策 No (4)－③「がん対策事業」

- 受診者数という指標を何かパーセントとかなんかにできないか。本来ターゲットにすべき人数があって、そのうちの何人が受けたかっていうのはわからん限り多いか少ないかがわかりにくい。

## ■基本目標 4

### 施策 No (2)「地域の拠点づくり」

- 地区交流センター活性化事業で、地域づくりの中の講座開催について地域の実態があるかもしれないが、効率よくするために24館が年に3回やるとか検討しては。
- 集落支援員の配置について、市の指導で目標値に向かって水準を上げていってほしい。
- 交流センターの地域拠点づくりと厚労省が推進している自立支援事業と一緒にできないものか。いわゆるこの交流センター事業で地域づくりの拠点づくりするならば、やはり自立支援法と合わせたほうがより効果的ではないか。
- 行政が交流センターに講座開催について説明する際、目標をもち3回やることが目的にならないように伝えることが大事。

- 交流センターを中心として、人も含めてビジョンができるかどうかというのと、そのビジョンがどういうレベルであれ、それをその地域の人々が納得してやっつけていけるかどうかというので、まずそれを促進していくことが一番肝要ではないか。
- 地域交流センター活性化事業自体が効果を図るには物差しが用意されていないと思うので、今後見直しが必要である。
- 地域ビジョンづくりについて、一律に各地区ごとにビジョンをと言っても、その力がないところも中にはあると思う。本当に苦しんでるところに関しては、県なんかとも協力しながら、やる気のある若手の人をあてがうような思い切った施策も必要ではないか。

#### **施策 No (3)－①「公共交通の充実」**

- 今年の7月に法改正された「貨客混載」(バスで荷物を運んでもいい)について、要望等調査し早く検討したほうがいい。
- イエローバスについて、中山間地域の子供たちが学校に通学するすべが少なく、部活動をするとバスで帰れない等の事情により市内の高校に進学せず松江、米子に進学してそのまま下宿をすることがあるので、イエローバスのさらなる活用を図ってほしい。

#### **施策 No (3)－②「道路ネットワークの整備」**

- K P I の目標値の13キロってというのは達成ができるのかどうか。

## 【分科会 ～平成28年度の実績評価について～】

### 【基本目標1】

- 婚活活動支援事業について、成婚数1組が多いのか少ないのかの判断が難しい。民間でも取り組みがあるので、タイアップや事業委託などすると可能性が広がるとよい。また、はぴこは行政がやらなくてもいいのでは。
- 不妊治療助成事業の実績は対象者を全てカバーしているかがわからない。実際にニーズがどの程度あるのかは把握出来ないのか？他市町村の助成内容や状況はどうか？安来市の助成が進んでいけば、居住する人も増えるかもしれない。通院が大変なので市内の病院でも治療が受けやすいような配慮があると良い。
- がん対策事業のところで、K P I が子宮頸がんの受信人数で書いてある。受診者数では高いのか低いのかもわからない。全体の対象者がどれくらいで、受診率がどれくらいなのかが重要。分母を定めて何%（受診率）とやったほうがわかりやすい。
- 子育てフォーラムや婚活活動支援事業に関しては、自主的に活動するサークル等があり民間団体でやっているところもあるので行政指導でやらなくてもいいのでは。
- 子育て支援センター運営事業については、事業概要が事業実績の数値と連動していない。やすぎのプレイルームは人が少なくて寂しいので、松江や米子の支援センターに行き、知り合いや友達を見つける人もいるらしい。
- ファミリーサポートセンター事業は、利用者数が増えれば良いのか？需要と供給のバランスは考えられているのか？
- 放課後児童健全育成事業について、学童に入れたくても入れない子どもたちがいる。宅地の造成等で、一時的に児童の人数が増える場合が多い。学校の児童数も同様。数年後の見通しをもって計画的にできないのか？
- みんなで子育て応援事業について、婚姻届等はこれをやったからといって出生率が増えたりとかっていうことはまずないと思う。また、利用者300人が妥当なのか、活用している人がどれくらいいるのかがわからない。
- 外国語指導事業については、英語教育は必要なことだと思うが、少子化という視点では重要とは思われない。子育て、出産、結婚というところで考えると当てはまらないので、基本目標1に必要ではないのではないかと。
- しまねの子育て協働プロジェクト事業については、評価指数が65%で、各自治会や事業に参加した数が増えたら達成ということになっているが、この結果が出るのは15年、20年先の話であり長期的なスパンで捉えれば重要なことではあるが、先行投資の事業として考えるとどうか。K P I の設定に無理がある。ただ先行投資の事業が悪いというわけではなく、どんどんやっていかなければならない。

### 【基本目標 2】

- No. 1 から 6 の事業、これは企業誘致及び立地促進による新規雇用者数が目標 100 人（累計）と設定されているが、現在の実績 79 人で簡単に目標達成の状態。この事業が一番基本目標の 2、20 代の社会移動をプラ・マイ・ゼロにするというのに、基本目標との相関が高い項目なのに、あと 20 人で終わりとなり本来の基本目標は全く達成できていないので見直ししたほうがいい。
- No. 8 から 11 については、余り相関が高くはないとの意見もあったが外部評価としてはまる相当程度効果があった。
- No. 12 から 17 は、外部評価としては効果があったと評価した。
- 次の創業支援事業、No. 18 の 1-3 については、一応これは相当程度効果があったと評価。
- 次のNo. 19 から 24 は、評価としては数値目標達成しているのも非常に効果があったということになるが、20 代の社会移動を捉える事情ということは相関が薄いのでは。
- 就労支援事業については、これは外部評価は相当程度効果があったと評価。
- 事業の施策の中で気がついた点として、奨学金とか奨学金で何とか出ていった人を U ターンさせようというような視点の事業がないので、できればそれを追加検討してほしい。
- 奨学金の拡充も考えることはできないか。例えば給付型が考えられるが、U ターンする人はいいが、しない人に対して取立てなどの問題もでてくる。

### 【基本目標 3】

- No. 1、2 の定住推進支援事業については、人口増加についても 30 代の転入、転出が 30 代の年齢が上回っているのもあるという実績も踏まえて非常に効果的であった。ただし、年度始まってすぐに予算がなくなるというような状況があり、まだまだ家を建てたいという若い方はいると思うので支援を拡大、継続してほしい。
- 安来の産業振興、農林業等の振興も踏まえた中での内容、補助金の内容の検討も必要である。
- 民間住宅の建設助成金については、継続として評価を内部評価と同じ相当程度効果があったと評価。
- 空き家情報登録制度、空き家バンクについては、できればその建物の状況等あるいは改修等について何らかの相談が受けられるような対応や「不動産業者」とのリンクもしてはといった話もできたが一応外部評価も効果があったと評価し継続で。
- 定住サポートセンター事業については、このまま相談窓口は拡充して続けてほしいとの意見が出たので外部評価も効果があったと評価し継続。
- 商業再生支援事業も継続で外部評価は効果があったと評価、事業概要の中で空き店舗等という文言を入れられたらどうか。まちの賑わいをつくる、利便性の向上に有効。
- 自主防災組織支援事業については、大小のコミュニティーいろいろありますが、まずはそのコミュニティーの中でお互いがその意識を持つことが大事だということで、これも

次続で、ただ実績的には評価としては効果があったと評価。もっと深く自治会に対してこういう組織を立ち上げていただく事への要請、説明というのを積極的に行政サイドから歩いてはどうか。

また、自治会の規模により補助金額は変わることも含め補助金が少ない。用具を準備しても保管場所がない。

- 消防団体制の構築事業については、これはなかなか人材が確保できないという中で非常に難しいところではありますが、これも先ほどの自主防災と同じように、必要不可欠なものであるため、人口対策の上でも安全・安心なまちづくりと、これを表に出して移住を訴えるということでも必要だと思うので継続。
- 福祉専門学校就学補助については、これも実際福祉専門学校さんのほうだんだん生徒数が少なくなって非常に運営が厳しいということもあり継続してほしい。市内の各福祉事業所等へ資格取得の要請で福祉専門学校からも直接出てお願いをしておられるようですが、行政のほうとしてももっとバックアップをしてほしい。
- 医師・看護師確保対策事業については、医師、看護師いずれも不足している状況があるので継続、できればもっと予算を増やし安全・安心なまちづくりの一つというふうに捉えられるので、今後とも積極的なPRと補助金等の内容も検討してほしい。

#### 【基本目標4】

- 1から8までの事業通して、1から7については全体的な結果相当程度の効果があったと評価し継続、8についてはもうモニタリング不要ではないか。
- 2、3、4の農業関係あたりは安来市のみならず島根県は農業が基幹産業でもあるので、費用対効果が悪いのもっと掘り下げた事業の中身の検討とか、インパクトあるパフォーマンスが欲しい。
- 地域おこし協力隊事業では、隊員が定住するかどうかを考えると空き家などの提供支援が必要。
- 新規就農者の受け入れのポテンシャルは高いので生かして行き、都会から気持ちを持っている若者はいるので呼び込み家族で来てもらいたい。
- 安来市で林業を主要な産業としようという意識が浅いように感じる。
- 地区交流センター事業については、もっと交流センターの地方創生、地域活性化に向けた進め方や内容など活用の議論が必要ではないか。活動が限定的となっており自由度が少ないので今の状況であると効果が期待できない。予算についてももっと予算をつける必要がある。KPIも講演の回数ではおかしいのでは。  
交流センターとコンビニが一体化してもいいし、交流センターで婚活といったことも考えられる。知識だけ出せといわれても・・・。
- イエローバス運行事業については、バスで荷物も運ぶ、自転車も運ぶ、荷物も運ぶことができれば。  
また、小型化も考えることや時刻表の調整が必要。利用者の意見を聞くべき。



## 平成30年度の会議の進め方(案)

### ■事業の絞込み

アンケート回答結果から(平成28年度 安来市まち・ひと・しごと創生総合戦略事業)

【問2】総合戦略事業として行っている表の各事業について、人口対策である総合戦略の事業としてすすめる必要があると思いますか？

※数値の単位は人 アンケート回答20/22の回答率。最大は20、中間は10、(B)どちらともいえないは抜いて、(A)-(C)で評価

基本目標	数値目標	No.	名称	(A)思う・まあ思う	(B)どちらともいえない	(C)あまり思わない・思わない	(A)-(C)	10人以上	備考
《基本目標1》 若い世代の結婚・出産・子育てを”支援(てご)”する	指標:出生数 基準値:267人 (H25)  目標値:272人 (H27~H31年の平均)	1	結婚活動支援事業	16	3	1	15	1	
		2	子育て応援サイト事業						記載漏れ分
		3	不妊治療費助成事業	15	4	1	14	1	
		4	がん対策事業	14	3	3	11	1	
		5	子育て講座事業	16	4	0	16	1	
		6	認定こども園運営事業	17	2	1	16	1	
		7	子育て支援センター事業	17	3	0	17	1	
		8	ファミリーサポートセンター事業	15	5	0	15	1	
		9	放課後児童健全育成事業	20	0	0	20	1	
		10	みんなで子育て応援事業	11	5	4	7		
		11	外国語指導事業	4	7	9	▲ 5		
		12	しまねの子育て協働プロジェクト事業	10	6	3	7		
							小計	8	
基本目標	数値目標	No.	名称	思う・まあ思う	どちらともいえない	あまり思わない・思わない	(A)-(C)	10人未満	
《基本目標2》 産業振興により、若者に魅力ある雇用の場を創出する	指標:20歳代の社会移動 基準値:-58人 (H25)  目標値:±0人 (H27~H31年の平均)	1	ものづくり企業技術開発等支援事業	14	5	1	13	1	
		2	企業立地促進奨励金事業	13	5	1	12	1	
		3	産業サポートネットやすぎ事業						記載漏れ分
		4	企業立地雇用促進奨励金事業	12	6	1	11	1	
		5	工業団地整備事業	11	6	3	8		
		6	中山間地域等雇用基盤強化支援事業	10	8	2	8		
		7	貸工場整備事業	9	7	4	5		
		8	ふるさと寄付推進事業	9	6	4	5		
		9	新農林水産振興がんばる地域応援総合事業	16	4	0	16	1	
		10	農山漁村活性化プロジェクト支援交付金	11	8	1	10	1	
		11	新規就農研修事業	16	4	0	16	1	
		12	就農・定住パッケージ事業	15	5	0	15	1	
		13	林業活性化事業	13	6	1	12	1	
		14	中間土場整備事業	8	9	3	5		
		15	特用林産物振興事業	7	10	3	4		
		16	みどりの担い手確保緊急対策事業	11	8	1	10	1	
		17	太陽光発電・ペレットストーブ等への補助(ペレットストーブ分)	6	9	5	1		
		18	総合文化ホールのバイオマスボイラーの原材料購入	5	7	8	▲ 3		
		19	創業支援事業	12	5	3	9		

		20	誘客推進事業	11	4	4	7		
		21	新・ご当地グルメ開発事業	7	5	6	1		
		22	安来節振興事業	10	5	5	5		
		23	インバウンド推進事業	10	8	2	8		
		24	やすぎ刃物まつり事業	12	5	3	9		
		25	月の輪まつり振興会補助事業	10	5	5	5		
		26	就労支援事業	16	3	0	16	1	
							小計	10	
基本目標	数値目標	No.	名称	思う・まあ思う	どちらとも いえない	あまり思わな い・思わない	(A)-(C)	10人以上	
《基本目標3》 住環境を向上 し、市民の定住 意識を高める	指標：30歳代 の社会移動 基準値：-71 人(H25)  目標値：+26 人(H27～H31 年の平均)	1	定住推進支援補助事業	19	1	0	19	1	
		2	定住推進支援補助事業(地域材 分)	17	2	1	16	1	
		3	民間賃貸住宅建設助成事業	14	4	2	12	1	
		4	空き家情報登録制度(空き家バ ンク)	17	2	1	16	1	
		5	定住サポートセンター事業	18	2	0	18	1	
		6	商業再生支援事業	18	2	0	18	1	
		7	自主防災組織支援事業	11	5	4	7		
		8	消防団体制の構築事業	11	5	4	7		
		9	福祉専門学校就学補助事業	12	6	2	10	1	
		10	医師・看護師確保対策事業	16	2	2	14	1	
		11	がん対策事業【再掲】	12	4	4	8		
							小計	8	
基本目標	数値目標	No.	名称	思う・まあ思う	どちらとも いえない	あまり思わな い・思わない	(A)-(C)	10人未 満	
《基本目標4》 多種多様で魅 力的な“地域 (じげ)”を形成 する	指標：安来市へ の愛着度 基準値：62.3% (H26)  目標値：70% (H30)	1	地域おこし協力隊事業	16	4	0	16	1	
		2	就農・定住パッケージ事業【再 掲】	17	3	0	17	1	
		3	新規就農研修事業【再掲】	17	3	0	17	1	
		4	みどりの担い手確保緊急対策事 業【再掲】	13	7	0	13	1	
		5	地区交流センター活性化事業	13	7	0	13	1	
		6	集落支援員事業	13	6	1	12	1	
		7	イエローバス運行事業	16	1	3	13	1	
		8	道路改良事業	10	7	3	7		
							小計	7	
							合計	33	

(基1)12 (基2)26 (基3)11 (基4)8 計57事業(うち再掲分4事業)

↓ ↓ ↓ ↓  
(基1)8 (基2)10 (基3)8 (基4)7

計33事業(うち再掲分3事業) + 再選事業

## ■会議方式

分科会方式により3回。

1回目：分科会 モニタリング(絞り込んだ事業について現状チェック)

2回目：分科会 評価 1回目を踏まえて選定した主要事業につき、深く議論

3回目：全大会 1・2回を全体共有したうえで改善策を提案+事業の絞込みにより議論の対象外となった事業の評価